



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日伝

コード番号 9902 URL <http://www.nichiden.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福家 利一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長・IR担当 (氏名) 吉田 富一

TEL 06-7637-7000

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	42,298	9.7	2,027	25.9	2,113	24.7	1,232	31.2
23年3月期第2四半期	38,547	49.6	1,610	472.3	1,695	368.4	939	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	78.31	—
23年3月期第2四半期	59.70	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	64,516	—	52,472	—	—	81.3
23年3月期	64,964	—	52,050	—	—	80.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 52,472百万円 23年3月期 52,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	6.8	3,750	8.7	3,900	8.4	2,220	9.6	141.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	15,943,000 株	23年3月期	15,943,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	205,740 株	23年3月期	205,740 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	15,737,260 株	23年3月期2Q	15,737,330 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
5. 補足情報	8
(生産、受注及び販売の状況)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災以降一時的に停滞していた生産活動もサプライチェーンの立て直しなどにより回復の兆しが見えてまいりました。しかしながら、欧米の金融財政問題を背景に円高の進行と新興諸国を含む世界的な経済の減速のほか、電力供給不足問題による国内産業界への影響など、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻く機械器具関連業界においては、自動車関連をはじめとする製造業の生産体制が急回復するのに伴って、受注も比較的堅調に推移いたしました。

このような状況下で、当社においては『設立60周年 第2の創業 価値観を見直し生まれ変わる年』を基本方針として、刻々と変化する環境を直視し全社員が自らの価値観を変えて生まれ変わり、お取引先に対する提供価値を見直し、営業展開を図ってまいりました。具体的には、お取引先ニーズの収集とそのソリューションを提案すべく、全社的な取り組みとして平成23年6月に東京ビックサイトで開催された機械要素技術展に続き、平成23年9月にポートメッセ名古屋で開催されたメカトロテックジャパン2011に出展したほか、支店・営業所単位でも展示会を企画してまいりました。また当社Webカタログの製品情報サイト及び商品カタログ名である『MEKASYS』を日伝ブランドとして浸透させるべくその情報サイト機能の強化と、MEKASYS=日伝としてマーケティング活動などにも取り入れ注力してまいりました。

設備面では、平成23年9月に手狭になっておりました西淀営業所の移転を行うとともに、北大阪営業所に名称を変更いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間におきましては、売上高422億9千8百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益20億2千7百万円（前年同期比25.9%増）、経常利益21億1千3百万円（前年同期比24.7%増）となり、四半期純利益につきましては、12億3千2百万円（前年同期比31.2%増）と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の分析

当第2四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ4億4千7百万円減少し、645億1千6百万円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ3億3千5百万円減少し、477億2千3百万円となりました。これは、現金及び預金が11億2千5百万円減少、商品が4億9千1百万円増加、受取手形及び売掛金が3億7千6百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億1千1百万円減少し、167億9千3百万円となりました。これは、有形固定資産が2億2百万円減少、投資その他の資産が1億3千4百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期末における負債合計は、前事業年度末に比べ8億6千9百万円減少し、120億4千4百万円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ7億8千4百万円減少し、92億6千2百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3億8千1百万円減少、未払法人税等が3億5千7百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ8千4百万円減少し、27億8千1百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金が6億8千1百万円増加したこと等により前事業年度末に比べ4億2千2百万円増加し、524億7千2百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ11億3千8百万円減少し215億6千2百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6千4百万円(前年同期において使用した資金13億2千2百万円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益が20億8千7百万円あったものの、法人税等の支払額が12億1千2百万円、たな卸資産の増加が4億9千万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、6億8百万円(前年同期において使用した資金5億2千9百万円)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が5億2千万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億9千5百万円(前年同期において使用した資金4億3千6百万円)となりました。これは、配当金の支払額が5億5千1百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では、平成23年5月10日の決算発表時に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,970	22,844
受取手形及び売掛金	19,460	19,837
商品	4,082	4,574
その他	562	487
貸倒引当金	△17	△20
流動資産合計	48,059	47,723
固定資産		
有形固定資産	9,589	9,386
無形固定資産	306	262
投資その他の資産		
その他	7,027	7,163
貸倒引当金	△18	△19
投資その他の資産合計	7,009	7,143
固定資産合計	16,905	16,793
資産合計	64,964	64,516
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,743	7,362
未払法人税等	1,255	898
賞与引当金	479	494
その他	568	507
流動負債合計	10,047	9,262
固定負債		
退職給付引当金	292	410
その他	2,573	2,371
固定負債合計	2,866	2,781
負債合計	12,914	12,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283
利益剰余金	39,180	39,862
自己株式	△560	△560
株主資本合計	51,271	51,953
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	778	519
繰延ヘッジ損益	0	—
評価・換算差額等合計	778	519
純資産合計	52,050	52,472
負債純資産合計	64,964	64,516

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	38,547	42,298
売上原価	33,053	36,162
売上総利益	5,493	6,136
販売費及び一般管理費	3,882	4,108
営業利益	1,610	2,027
営業外収益		
仕入割引	159	174
その他	84	80
営業外収益合計	244	255
営業外費用		
支払利息	41	39
売上割引	112	125
その他	6	5
営業外費用合計	160	170
経常利益	1,695	2,113
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産処分損	42	3
投資有価証券評価損	—	29
その他	1	0
特別損失合計	44	32
税引前四半期純利益	1,650	2,087
法人税、住民税及び事業税	783	865
法人税等調整額	△71	△9
法人税等合計	711	855
四半期純利益	939	1,232

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,650	2,087
減価償却費	277	277
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,394	△354
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△797	△490
仕入債務の増減額 (△は減少)	278	△314
その他	181	54
小計	△803	1,258
利息及び配当金の受取額	67	58
利息の支払額	△41	△39
法人税等の支払額	△544	△1,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,322	64
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△511	△520
有形固定資産の取得による支出	△72	△29
投資有価証券の取得による支出	△31	△64
投資有価証券の売却及び償還による収入	100	53
その他	△14	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△529	△608
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△393	△551
その他	△42	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△436	△595
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,288	△1,138
現金及び現金同等物の期首残高	23,339	22,700
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,050	21,562

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(生産、受注及び販売の状況)

① 販売実績

期別	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		比較増減 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
動力伝導機器	17,571	45.6	19,438	45.9	1,867
産業機器	7,686	19.9	8,188	19.4	502
制御機器	13,289	34.5	14,671	34.7	1,381
合計	38,547 (535)	100.0 (1.4)	42,298 (520)	100.0 (1.2)	3,751 (△14)

(注) 1 ()内は輸出高及び輸出比率であり、内数であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入実績

期別	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		比較増減 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
動力伝導機器	15,171	44.8	16,516	45.0	1,345
産業機器	6,748	19.9	7,133	19.5	385
制御機器	11,932	35.3	13,003	35.5	1,071
合計	33,851	100.0	36,653	100.0	2,801

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。